

地域計画

策定年月日	令和7年3月18日
更新年月日	令和7年12月22日 (第1回変更)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	東近江市 (252131)
地域名 (地域内農業集落名)	平阪 (五個荘平阪町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	17.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.2 ha
② 田の面積	15.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.3 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)農業用駐車場:〇〇〇〇788㎡	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

令和元年頃から集約と集積が進み3件の個人耕作者と3件の認定農業者で管理をしている。大半の面積は平阪の〇〇〇〇が耕作している。一部他の地域の新堂から認定農業者1件と木流町から〇〇〇〇が入作して入っている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

平阪の〇〇〇〇が土地利用型農業として主に水稻・麦・野菜を中心に行い、2件の認定農業者で〇〇〇〇と施設利用型農業(観光農業)経営を中心に行われていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

現状の認定農家が中核となり外部からの新規就農者の受け入れも視野に入れ移住を要件に高収益作物での経営型農業を進めていく。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	82 %	将来の目標とする集積率	93 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

現状、82%の集約集積ができているが今後、個人耕作者の意向に基づき進めていく。また入作については利用権設定期間が終了した時点で地区内の耕作者に移行する。状況に応じて近隣地区外の耕作者にまとめて移行することも視野に入れる。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
個人耕作者と入作耕作者とのコミュニケーションと話し合いを密にし状況に応じた進め方を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
すべての農地を農地中間管理機構に預け、費用の管理と契約を明確にする。
(3)基盤整備事業への取組
一部未舗装の農道の整備と大区画化を進めていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
今後、地域内での作業効率や負担を調整していく中でサービス事業体の利用も検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

②環境こだわり米への取組を推進する。③ドローでの防除作業の効率化を図る。⑤果樹等の栽培に取り組んでいく。⑦まるごと保全事業への取組を行う。⑧未舗装の農道整備と大区画化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	〇〇〇〇	水稻・麦・野菜	12.1 ha	0 ha	水稻・麦・大豆・野菜	12.1 ha	0 ha	オレンジ	
認農	〇〇〇〇	花卉・野菜	0.5 ha	0 ha	花卉・野菜	0.7 ha	0 ha	うすだいだい	
認農	〇〇〇〇	野菜・果樹	1.65 ha	0 ha	水稻・麦・大豆	1.65 ha	0 ha	きいろ	
認農	〇〇〇〇	水稻	0.1 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	あか	
認農	〇〇〇〇	水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	ピンク	
認農	〇〇〇〇	水稻	1.1 ha	0 ha	水稻	1.1 ha	0 ha	あお	
利用者	〇〇〇〇	水稻	0.3 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	きみどり	
利用者	〇〇〇〇	水稻	0.01 ha	ha		0 ha	ha	むらさき	
利用者	〇〇〇〇	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	みどり	
利用者	〇〇〇〇	水稻	0.1 ha	ha		0 ha	ha	緑青	
計	10経営体		16.0 ha	0 ha		16.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	〇〇〇〇	耕起、田植、収穫	水稻・麦・大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合